

ふれあいサロン

第4回は、ハーバリウム（インテリアフラワー）を作りました。日頃花と身近に接しておられる皆様は手際よく生花とは異なった植物の美しさを表現されていました。癒しの空間と楽しい時間を実感されていました。

第5回は服部整骨院の院長による頭スッキリ-4で脳を使って健康体操を行い、笑い声がでるほどに明るい表情になられていました。野々村委員長の「クイズの答え〇×ゲーム」で脳細胞を活性化して頂き、そしてクリスマス会では神さんのロールケーキを頂きながら、「亀岡へGO**ご利益の国**ぶらり亀岡」のビデオを見て地元の名所を再認識して頂きました。



出来映えにニコ



服部院長の手混乱？



ハーバリウム完成へ



〇×ゲーム



美しくきれい



ぶらり亀岡

運動会協賛いただいた寄付者個人名の誤記の訂正

第54回町民運動会にご寄付をいただいた「中川元宏」さんのお名前を、誤って「中川元弘」と記しておりました。お詫び申し上げますと共に訂正させていただきます。
※正(中川元宏)

編集後記

9月の敬老会から文化祭まで主な行事を例年通り実施することが出来て安堵しております。
その報告を自治会だより18号で報告出来ることに感謝しております。
今後も馬路町の皆様、声の欄を活かした紙面づくりに取り組んでいきます。ご意見、感想等をお寄せください。
(中川俊和)

編集委員長 中澤 基行
副委員長 中川 俊和
委員 中澤 一人
委員 八木 千賀子
委員 河原 朋美
委員 河原 朋美

馬路農業保全管理を推進する営農組織再整備に向けて

農業従事者が高齢化・減少する中、馬路町の農業・農村環境の保全と有効活用に大きく貢献、今後ますます営農組織（農作業受託組合組織）の拡充の必要性が高まっていますが、かねてからその運営実態の不透明性（平成26年度からの収支報告が未実施）に対して、多くの町民から疑問の声が上がっていました。

今回、農業関係役員が多くおられる「環境クリーン団体」において、5年後を見据えた馬路町の農業について協議する中で、この問題の解決が急務であるとして関係者協議を重ねてきました。

その結果、11月30日に各区の農家組合の役員さんに対して収支報告会を実施。その後、各区において収支報告会を開催。一定了承を得ることが出来ましたので、今後は、営農組合の組織体制の検討・協議に入り、令和2年4月1日を目途に新たな営農組織【農作業受託組合】運営体制の確立を目指すこととなりました。



収支内容について審議(h26~h30)

今後の行事予定

令和1年12月～翌年3月

- 12月25日(水) 馬路町防犯推進委員年末特別警戒
- 12月28日・29日(土・日) 年末特別警戒 (消防馬路分団・自主防災会・防犯推進委員)
- 翌1月12日(日) 消防出初式 (消防馬路分団・自主防災会)
- 1月13日(祝) 成人式
- 1月18日(土) 4町合同子育て研修会
- 2月2日(日) 町内内溝浚え
- 2月7日(金) ふれあいサロン(神ひろみショー)
- 2月9日(日) 体振ふれあい卓球大会
- 2月29日(土) 第1回川東ウォークラリー (国分寺・七福神めぐり)
- 3月2日(月) 自治会だより第19号発刊(予定)
- 3月8日(日) 合同会議 自治会議員、正・副区長、隣組長
- 3月29日(日) 令和2年度合同会議



発行:馬路町自治会 令和元年12月24日 亀岡市馬路町流川2-1 (TEL:0771-22-0661) 印刷:(株)天声社

自治会長あいさつ

年号が平成から令和へと変わる歴史。上大きな節目となった今年も、もういくつ寝ると・・・しっかりと締めくくって頂き、令和2年を良い形でお迎え下さい。

さて、今日の大きな課題の一つは、想定外の自然災害が常態化。今年も全国で甚大な災害が発生。とりわけ馬路町への被災は免れませんが、近年まれな超大型台風19号は、関東・甲信越地域を中心に未曾有の被害をもたらしました。今年の流行語大賞にノミネートされた「命を守る行動」という言葉を何回もテレビ・新聞等で聞きしました。一層の自助・共助意識をしっかりと地域に育むことが重要となります。

二つ目は、人口減少対策。昭和30年の2202人をピークに、10年前には1608人に、そして令和元年10月1日現在1577人と、馬路町も他地域と同様、毎年少しずつ減少を続け、減少傾向に歯止めがかかりません。

このため馬路町では、市街化調整区域内建築規制の見直し、空き家を活用した移住促進対策、更には京都スタジアムのオープンに伴う川東地域への「にぎわい創出戦略」等により、人口減少への歯止め、そして活性化に向けて、川東4町が「ワンチーム」となっており、これら課題の解決に全力で取り組んで参りますので、ご理解ご協力をよろしくお願い致します。

亀岡市総合防災訓練

令和元年度、2年に一度の亀岡市総合防災訓練が9月7日(土)に保津橋桂川左岸河川敷を主会場に、市内23地域拠点で実施されました。
大規模災害発生時に緊急対策活動への関係機関と市民との協力体制の確立と充実強化、及び防災意識の徹底を図ることを目的とし、「市民が自ら考え！自ら行動する！」訓練が行われました。
馬路町自主防災会も、早朝6時30分より生涯学習センター及び周辺で、①情報伝達対応(緊急メール及び電話)②避難所開設(紙面での説明とダンボールベッドの組み立て)③要援護者支援(安否確認)④土のう袋作成⑤給食給水(薪で火をおこし炊き出し)⑥屋外消火栓放水⑦別動隊5人は主会場訓練に参加(バケツリレー等)。これらの訓練を、自治会議員・各区正副区長・民生児童委員・消防団員・市の地域担当職員約50名の参加の下、全員が臨場感を持って最後まで真剣に取り組めました。馬路町の有る際には、この訓練の成果を活かし町民の皆様の安全安心の確保に努めたいと思います。(堤 邦尋)



薪で火おこし



土のう 積み方



ダンボールベッド作り



集合号令



炊き出し



土のう作り



消化栓からの放水



事前学習